

◆東口駅前広場の課題

- 歩行者空間に関する課題
 - ・東口駅前広場に集中する歩行者量に対して不足する歩行者空間
 - ・アロマスクエア方面をはじめとしたバス利用者と歩行者の交錯
 - ・駅前広場内やその周辺における自転車と歩行者の交錯
- 交通結節機能に関する課題
 - ・必要な交通施設の集約に際して不足する駅前広場空間
 - ・駅前広場外へ分散しているバス乗降場
 - ・広場内に侵入する通過交通とバス、タクシーとの交錯

◆東口駅前広場の整備概要(目標・方針)

初動期（～5年程度） 駅前空間再編の端緒となる公共空間を中心とした整備	中長期（～10年程度） 新空港線「蒲蒲線」整備や駅ビル・駅前周辺街区の建替えなどと連携した検討・整備
<ul style="list-style-type: none"> ●駅ビル側歩道の大幅拡幅 ●バス降車場の駅前広場内への配置 ●一般車両の動線変更 ●タクシー待機場一部確保 ●バス・タクシーの転回確保 	<p>(初動期を踏まえた整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ペDESTリアンデッキの検討（上空利用） ●交通施設再配置 <p>(中長期での整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●中央自由通路と駅前広場の結節 ●新空港線「蒲蒲線」の出入口

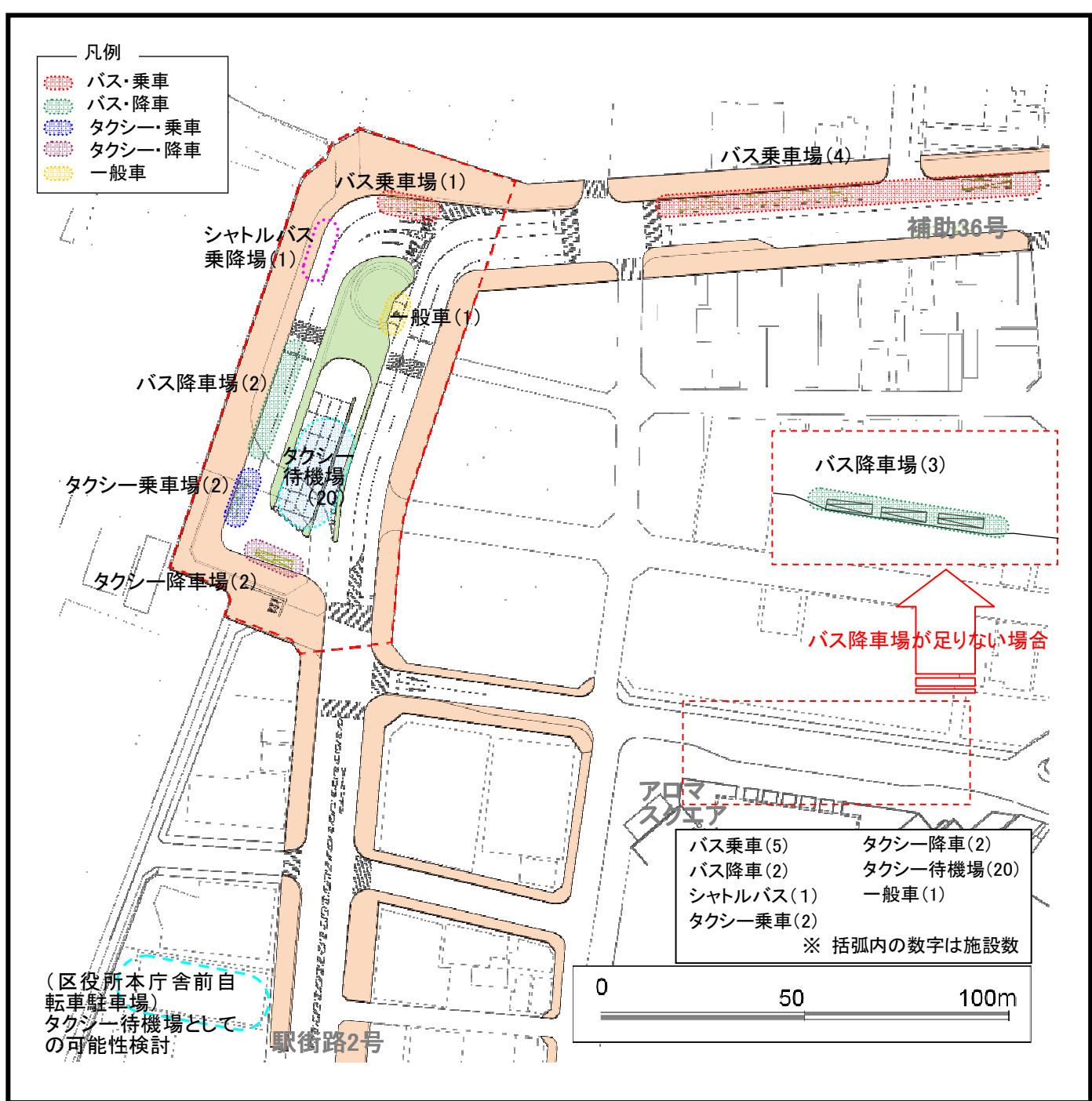
◆初動期整備の考え方 ※歩行者空間優先（歩行者環境の改善を重視し、交通結節機能の強化を図る）

- 広場南側用地取得による拡張
 - ・広場南側用地（14番街区）を駅前広場用地として活用
- 駅ビル前・広場南側の歩道幅員の拡幅
 - ・現状6m → 計画9m
- 交通施設（バス・タクシー）一部配置替え
 - ・補助36号、アロマスクエア前の降車場を駅前広場内に集約
- 地下自転車駐車場設置
 - ・東口駅前広場地下への自転車駐車場整備

◆初動期整備における課題

- 配置計画の詳細化
 - ・バス乗車場箇所数
 - ・タクシー待機場台数・位置
 - ・駅前広場外のバス乗車場・待機場、タクシー待機場の位置
 - ・バス運行経路の変更
- 周辺建物との関係
 - ・駅ビル荷捌き施設、駐車場への出入り 等
 - ・バス乗車場、タクシー乗車場・降車場の位置
 - ・歩行者・自転車通行空間

◆整備イメージ



※イメージ図及び記載内容は、蒲田駅周辺再編プロジェクトの作成に向け検討中のものであり、決まったものではありません。